

平成26年度第4回 新発田市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成26年2月18日（火）13:58～15:25

場所：新発田市役所 別館2階 会議室

日程	担当	内容
開 会 (13:58)	事務局 (原補佐)	定刻前ではありますが、ただ今から平成25年度 第4回新発田市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。 開会にあたりまして、会長であります下妻副市長からご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いします。
主催者 あいさつ	会長 (下妻副市長)	開会にあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。 皆様におかれましては、日ごろから新発田市政、とりわけ交通行政につきまして格別のご理解とご配慮をいただいておりますことを、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。 また、本日はご多用のなか、当協議会にご参集いただきまして誠にありがとうございます。 本市では、『「分かりやすく」「使いやすく」「持続可能な」公共交通体系の構築』に向け、小学校の統合に合わせた公共交通の見直しを地域の皆様と共に検討しております。 その成果のひとつとして、この4月から川東コミュニティバスの実証実験運行がスタートいたします。 また、実際の利用者の声に耳を傾け、見直しの検討を重ねたあやめバスにつきましても4月から新たな時刻、路線で運行を開始します。 当協議会では、引き続き、住民・利用者ニーズを的確に捉え、地域公共交通の活性化となる取り組みを、精一杯進めてまいりますので今後とも皆様から更なるお力添えをお願い申し上げます。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。
委員紹介	事務局 (原補佐)	ありがとうございました。 本日の出欠状況につきましては、配布させていただきました名簿を確認していただきたいと思います。
会の運営	事務局 (原補佐)	それでは、続きまして会議に移らせていただきますが、会議の進行につきましては、協議会規約第9条の規定に基づきまして、会長が議長を務めることになっておりますので、下妻副市長にお願いいたします。
議 事	議長（会長）	それでは、規約の定めにより議長を務めさせていただきます。まずは、本協議会の本日の会議であります。規約第9条第2項の規定により、過半数以上の委員の皆様が出席いただいておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。

第1号議案	議長（会長）	さっそくですが、議事に入らせていただきます。 第1号議案、「地域公共交通確保維持改善事業について」（1）（2）を併せて事務局から説明をお願いします。
	事務局 （溝口主任）	《事務局説明》 「地域公共交通確保維持改善事業について」説明
	議長（会長）	ありがとうございました。 ただ今、説明のあった第1号議案の内容につきまして、ご意見・ご質問等をお受けしたいと思います。委員の皆様からのご質問等をお願いします。
	委員（新発田市 地域整備課 新 井田課長）	25ページですが、1年目、2年目の取り組みで、「待合所などの除雪体制の構築や継続」ですが、これは地域でやっていただけるのでしょうか。
	事務局 （溝口主任）	これから地域とともに検討しまして、地域の皆様が主体となる除雪体制の構築を進めていくことを予定しています。
	議長（会長）	ありがとうございました。 他に皆様から何かありますでしょうか。無ければ、私の方からせっかく各分野の方々がおいででありますので、お聞きしたいと思います。 国土交通省の方にお聞きしたいのですが、今ほど事務局から説明があった事業計画案ですが、管内の申請状況や取組事例などもしありましたらご紹介いただけますでしょうか。
	委員（北陸信越 運輸局 猿谷専 門官）	本日課長代理で出席させていただきました、猿谷と申します。 日頃より運輸行政に対しましてご理解とご協力ありがとうございます。新発田市におかれましては、各事業に取り組んでいただきまして感謝申し上げます。 協働推進事業は、市が中心となって地域ぐるみで協働して公共交通の推進を図っていただく事業になっております。 今年度については、北陸信越管内において3件認定しております。長野県の松本市、南信州地域、石川県七尾市となっております。それぞれについて、補助事業で補助金が出ております。今回新発田市がおそらく4件目で、県内では初めての案件となると思います。 協働推進事業をやっていただきますと2年ほど特例措置を受けられるメリットがあります。これまで補助を受けていなかった、フィーダー系統についても利用促進を行うことで補助が受けられます。また、利用促進事業の費用についても補助メニューがあるという2点のメリットがあります。 メニューを通じて、委員の皆様にも公共交通を利用していただき、新発田市の公共交通の活性化につなげていただければと思います。

	議長（会長）	<p>ただ今、国交省の方から説明がありましたことについて皆様から何かありますでしょうか。無いようでありますので、拍手をもって承認したいと思います。</p> <p style="text-align: center;">《拍手を受けて》</p> <p>ありがとうございました。第1号議案については、原案のとおり承認することといたします。</p>
第2号議案	議長（会長）	<p>続きまして、第2号議案、「平成26年度事業計画（案）について」事務局から説明をお願いします。</p>
	事務局 （荻野係長）	<p>《事務局説明》 「平成26年度事業計画（案）について」説明</p>
	議長（会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、説明のあった第2号議案の内容につきまして、ご意見・ご質問等をお受けしたいと思います。委員の皆様からのご質問等をお願いします。</p>
	委員（公社新潟県バス協会 高橋専務理事）	<p>新潟県バス協会の高橋です。新発田市では、あやめバスが定着してきていますので、他の自治体へアピールが出来ると思うし、国や自治体が支援するバスは付加価値がついていると思います。路線バスが苦戦している中、あやめバスは高齢者や高校生の方々が利用し地域の足として定着していることは非常に喜ばしく思います。</p> <p>要望となりますが、幹線系統もなんらかの形でうまく使っていただきたい。</p> <p>また、協働推進事業の部分であります。この協議会の場が重要で権限がある法定協議会であると思いますが、数字の運行回数、輸送人員など事務方が苦労していると思うので、もう少し簡易にならないのでしょうか。</p> <p>もうひとつは、補助金の部分について、調整があると思いますがなんとか確保してほしい。</p>
	議長（会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>コメントはありますでしょうか。</p>
	事務局長 （三宮課長）	<p>幹線についての新発田市の基本的な考え方としては、まずは幹線を維持していくこと。その中でそれぞれの周辺部からつないで市街地に循環していきたい。</p> <p>また、地域との協働の見直しでやっていきたいと考えています。</p>
	議長（会長）	<p>よろしいでしょうか。他にどなたか意見等はありませんでしょうか。</p> <p>無いようであれば、私からですが、中心市街地で賑わい創設としてバスの運行経路である商店街で軽トラ市など様々なイベントを実施しています。</p> <p>産業企画課長から26年度の予定や公共交通への要望事項があればよろしくをお願いします。</p>

<p>委員（新発田市産業企画課 大西課長）</p>	<p>産業企画課の大西です。中心市街地の活性化、まちの賑わいの観点からいろいろな事業を実施しています。</p> <p>資料の最後のページにもありますが、昨年の「サマーフェスティバル」では、半日ですが、循環バスを置き体験乗車やぬり絵をしていただきました。</p> <p>交通を止めることはありませんでしたが、年3回「100円商店街」を実施しました。</p> <p>それに加え、昨年は実験で11月12月の各1回「軽トラ市」を実施しました。まちなかのバス路線の3分の2程度を遮断しまして、土曜日の午前中に道路の両側に軽トラを約60台止めて販売をしました。</p> <p>26年度については、最終確定ではありませんが、4月下旬からできれば毎月1回11月ぐらまでさせていただきたく実行委員会で詳細を検討しています。</p> <p>「軽トラ市」で一番心配なことは、新発田市の大動脈であります停車場線の通行止めが市民の方に受け入れられるかでした。</p> <p>昨年の2回は、通行止めは9時から12時半までにして、できるかぎり、通勤通学に支障が無い時間で設定しました。これが、毎月1回になったときにどのような声が寄せられるのか若干不安であります。そういうことを含めまして、軽トラ市をできれば、毎月第何土曜日・日曜日と日を決めて実施したく実行委員会で検討しています。</p> <p>なお、中心市街地でのイベントでは、駐車場について聞かれますので、できるだけバス等をご利用くださいとのPRをさせていただきます。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>主要地方道を通行止めにして行うイベントでありますので、道路管理者、警察署、バス、ハイヤーなど十分協議をしたうえで進めていただきたい。</p> <p>もう1点ですが、企画政策課長にお聞きしたいのですが、昨年中中心市街地活性化基本計画の見直しを行いました。市役所周辺の「公共サービスゾーン」や、駅前の「情報発信ゾーン」など各「拠点」を繋ぐための公共交通の充実も必要となると思います。</p> <p>パブリックコメントでも意見があったと思いますが、新しくなったあやめバスのルートや運行便数などを見てご意見等はありませんでしょうか。</p>
<p>委員（新発田市企画政策課 杉本課長）</p>	<p>企画政策課長の杉本です。新しいルートについては、新発田高校をはじめ、新発田商業高校などの高校生を意識し、また新しく自衛隊で建設されます白壁兵舎広報資料館などをつないだルートになっており非常によく練られており計画について賛成です。</p> <p>この機会に、私が所管しています新しい駅前複合施設の関連についてお話しをしたいと思います。</p>

		<p>JR新発田駅前の約6,000㎡を超えるところに図書館を核とした複合施設を建設します。そこには、民間棟もできますので、民間施設と連携し中心市街地活性化に貢献できるように人が行きかい、賑わいあふれるまちとなるような駅前複合施設の建設を進めています。</p> <p>市長が常々公共施設は、交通弱者に優しくなくてはならないと日頃から申しております。</p> <p>高齢者、子どもさん、あるいは子ども連れのお母さん方が公共施設に訪れる際は公共交通機関が利用でき、公共施設をそのようなところに建設すべきとの考えがあります。</p> <p>JR新発田駅前はタクシーや循環バス、路線バス、JRが結節するところでありますので、このようなところに公共施設を建設します。現在は、基本設計が完了しこれからは実施設計を行います。</p> <p>駅前複合施設や市役所の新庁舎は、平成28年度のオープンを予定しております。</p> <p>公共施設がさらに市民の皆様が利用できるように、循環バスやコミュニティバスを含めまして、今後一層運行頻度を高められるように努力をしていただき、交通弱者に優しく市民の足として、さらに乗りやすくなるようサービス向上に努めていただきたいと期待しております。</p> <p>特に市が進めています、子育て世代に優しい公共交通を目指して欲しいと考えています。</p> <p>私が見ました富山市の事例では、65歳以上の高齢者の方に非常に格安に乗車できるサービスを提供していました。高齢者の方がまちにでて、お金をおとすことで活性化に貢献していただくことと公共交通を位置付けておりました。</p> <p>高齢者がまちにでてくることで、まちの賑わいにも大いに貢献できると思いますので、仕掛けづくりのひとつとして参考までに意見として述べさせていただきました。</p>
議長（会長）		<p>ありがとうございました。</p> <p>それぞれのご意見をいただきましたが、事務局からコメントはありますでしょうか。</p>
事務局長 （三宮課長）		<p>産業企画課長から話がありました、「軽トラ市」等のバス路線を使うイベントは、公共交通機関は少なからず影響があります。</p> <p>ただ、活性化のための大事なイベントでありますので、早め、早めの情報をいただきながら、極力公共交通利用者が不便とならないよう、特に、「軽トラ市」が4月下旬から毎月11月までやりたいとの話がありましたので、周知方法も含めてしっかりと連携しながら進めていければと考えています。</p> <p>企画政策課長からありました、市役所の移転と駅前複合施設の関係から中心市街地の様子も変わっていきます。周辺部から新発田駅への路線、これに接続する市街地循環、この辺を充実させながら市</p>

		<p>街地への移動を円滑にしていきたいと考えております。</p> <p>また、あやめバスの運行頻度を高めたいところもありますが、利用者動向の更なる検証や財政面での調整などの課題もあります。</p> <p>今後、新発田駅の東口広場の整備も予定されておりますので、都市計画道路の開通状況を見ながら市街地における公共交通を考え、子育て世代から高齢者の方々にも、利用しやすい移動手段を構築したいと考えております。</p>
	議長（会長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に皆様から何かご意見等はありませんでしょうか。無いようでありますので、第2号議案につきましては、拍手をもって承認したいと思います。</p> <p style="text-align: center;">《拍手を受けて》</p> <p>ありがとうございます。第2号議案についても、原案のとおり承認することといたします。</p>
第3号議案	議長（会長）	<p>続きまして、第3号議案、「新発田市地域公共交通活性化協議会規約の改正（案）について」事務局から説明をお願いします。</p>
	事務局 （渋谷主任）	<p>《事務局説明》</p> <p>「新発田市地域公共交通活性化協議会規約の改正（案）について」説明</p>
	議長（会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、説明のあった第3号議案の内容につきまして、ご意見・ご質問等をお受けしたいと思います。委員の皆様からのご質問等をお願いします。</p> <p>【質問・意見なし】</p> <p>ご質問等、無いようでありますので、拍手をもって承認したいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《拍手を受けて》</p> <p>ありがとうございます。第3号議案については、原案のとおり承認することといたします。</p>
第4号議案	議長（会長）	<p>続きまして、第4号議案、「新発田市コミュニティバスのバス停追加及び増便（案）について」であります。</p> <p>こちらは、道路運送法に基づきます「地域公共交通会議」の案件となります。事務局から説明をお願いします。</p>
	事務局 （渋谷主任）	<p>《事務局説明》</p> <p>「新発田市コミュニティバスのバス停追加及び増便（案）について」説明</p>
	議長（会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、説明のあった第4号議案の内容につきまして、ご意見・ご質問等をお受けしたいと思います。委員の皆様からのご質問等をお願いします。</p> <p>【質問・意見なし】</p>

		<p>ご質問等、無いようでありますので、拍手をもって承認したいと思いたしますがいかがでしょうか。</p> <p>《拍手を受けて》</p> <p>ありがとうございます。第4号議案については、原案のとおり承認することといたします。</p> <p>これで、本協議会における議事は以上となります。</p>
報 告	議長（会長）	<p>それでは、次第4の報告に入らせていただきます。</p> <p>「平成 25 年度事業について」（1）川東コミュニティバスの進捗状況を事務局から説明をお願いします。</p>
	事務局 （中山主任）	<p>《事務局説明》</p> <p>「川東コミュニティバスの進捗状況について」説明</p>
		<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、説明のあった報告事項につきまして、ご意見・ご質問等をお受けしたいと思えます。委員の皆様からのご質問等をお願いします。</p> <p>私からですが、乗換があるということですが、高齢者は乗換が大変であると思えます。しばらく慣れるまで何か対策はありますでしょうか。</p>
	事務局 （荻野係長）	<p>さきほど第1号議案で説明をさせていただきましたが、高齢者の方がたくさん乗っていただけるような乗り方教室やマイ時刻表の作成を検討しています。</p> <p>乗り方教室は、実際に地域でやっていただけるよう協働事業の1つとして取り組みを検討しています。</p>
	議長（会長）	<p>慣れるまでは大変であると思えますので、しっかり対応していただきたい。しばらくの間、地域のボランティアの方に添乗してもらったり、教室だけではなく様々な検討をしていただきたい。</p> <p>関東では大変な大雪ですが、新発田市は今年降雪が少なく大きな交通の乱れもないようです。4月から運行します川東地区は、比較的多く雪が降る地区ですが運行がうまくいくようにするために、地域の方々に対してお願いすることはありますでしょうか。</p> <p>県の方もお見えですが、道路管理者として市の地域整備課長から何かありますでしょうか。</p>
委員（新発田市地域整備課 新井田課長）	<p>図面を改めて見て、除雪についてがんばらなくてはならないと考えております。</p> <p>除雪について、事前に地域の方をお願いすることはありませんが、ただどうしても道路除雪を優先しますので、バス停周辺はこまめな除雪ができませんので、地域のお力を貸していただきたいと思えます。</p> <p>さきほど、質問をさせていただきましたが、除雪を考えたコミュニティづくりをしていただければと思えます。</p>	

	<p>事例でいいますと、赤谷地区については、除雪機を貸与して、地域で除雪をしていただいています。もし、コミュニティが充実してきますと除雪機を貸与することができると思います。</p> <p>一般的なことですが、除雪につきましては、広報や FM でも周知しています。除雪を早くするためには、できるだけ支障があるものを排除しなければなりません。</p> <p>地域の方に協力をお願いしたいことは、路上駐車や道路に庭木が出ていること、道路にサニーホースをだしていること、段差があるところに鉄板を敷いていることは除雪に支障をきたしますのでやめていただきたい。</p> <p>また、除雪をした後に道路に雪をだすこともやめていただきたいと考えています。</p>
議長（会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>今日は市民の代表者である自治連合会は欠席のようですが、ただ今の説明を受けまして、事務局長から何かありますでしょうか。</p>
事務局長 （三宮課長）	<p>除雪につきましては、新潟国道事務所、県地域振興局並びに地域整備課に大変お世話になっております。</p> <p>川東地区については、先ほど承認いただいた地域協働推進事業の中で、すべてがうまくいくかどうかは分かりませんが、バス停や待合所周辺の除雪体制の構築をお願いしていくことにしています。</p> <p>また、新規路線もあることから、新年度の早い段階から担当者同士で調整をお願いしたいと考えています。</p>
議長（会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>バス停の除雪については、運行した中で様々な問題が出てくると思います。機械でバス停周辺の除雪ができる場所もあれば、できない場所もあると思います。</p> <p>運行しながら、小型の除雪機を地域に貸すことや地域のボランティアの方が除雪をするなど、特に交通弱者の方が安心してバスが利用できる仕組みづくりをお願いしたい。</p> <p>ご質問が無いようでありますので、（２）あやめバスの運行状況等を事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 （溝口主任）	<p>《事務局説明》 「あやめバスの運行状況等について」説明</p>
議長（会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、説明のあった報告内容につきまして、委員の皆様からのご質問等をお願いします。</p>
委員（公社新潟県バス協会 高橋専務理事）	<p>参考までに分かる範囲で教えていただきたいのですが、1点目はあやめバスの乗車人員の年齢構成について分かりますでしょうか。例えば、高校生や一般の買い物客、高齢者など分かりますでしょうか。</p> <p>もう1点目は、川東のコミュニティバスのターゲットについてで</p>

	<p>すが、アンケートをとっても意見はでてきますが、なかなか乗っていただけないことがどこでもあります。市では、学校などどこまでPRをし、どの辺まで周知をしていますか。一般的な広報のみなのか細かく把握しているのでしょうか。</p>
議長（会長）	<p>事務局お願いします。</p>
事務局 （渋谷主任、三宮課長）	<p>1 点目の利用者の年齢構成ですが、あやめバスの見直しの際に、昨年から1年間春夏秋冬に事務局の職員がバスに乗車し動態調査を実施しました。</p> <p>その結果として、高齢者が非常に多く、日中は約8割が女性の高齢者でありました。</p> <p>また、朝の便ですが、高校生の利用が非常に多く、女子高生が約8割から9割でした。調査して分かったことですが、城北町、中曽根町方面から利用する生徒は、学校の始業時間にあって乗りやすいため新発田高校に向かう高校生が多くいました。</p> <p>朝の便に新発田高校以外の生徒も利用していましたが、始業時間になかなか合わないものでしたので見直しを行いました。</p> <p>次に、周知している場所ですが、3月末に市内6高等学校に時刻表を配布します。この4月には、川東コミバスが新規で運行し、あやめバスと菅谷・加治コミバスも一部変更するため、すべての時刻表が新しくなります。</p> <p>新しくやったものとしては、駅からバスに乗り継ぐ方も多く、新発田駅にあります観光案内所と連携をとっていますし、新発田駅の駅長様の協力をいただいて、駅舎の出入口に大型のポスターを掲示しています。</p> <p>イオン様の協力もありイオン北口に「バスどこ」のモニターと時刻表を置いていただいております。最近では、ウオロク様から連絡がありまして、お客様の声として時刻表を設置してほしいとの要望からあやめバスの周知と時刻表を掲示しております。</p> <p>2点目については、川東地区のコミュニティバスの乗車の見方についてですが、アンケートについては実施していません。</p> <p>新発田市のスタンスとしては、前例であります新発田市（菅谷・加治）コミュニティバスのように地域との協働として、地域住民の皆様と一緒にどのようにバスを地域で支えていくのかを主眼に検討してきました。</p> <p>川東地区についても、平成22年度に課題検討委員会を設置し、そのなかに公共交通部会を設置しました。その中で、これまでにルートや便数などすべてを地域とともに検討し合意してきました。</p> <p>推進協働事業の資料24ページをご覧くださいなのですが、後段に地域内の利用者が確実に見込むことができる1日の運行便数を36便と設定しました。</p> <p>1便あたり5人、1日180人の目標については、地域の皆さん</p>

		<p>が決めた目標であり、地域で目標に向かって支えていこうとの確認がとれています。</p> <p>菅谷加治地区が成功事例であると考えていますが、それと同様に地域が主体となって公共交通を支えていこうということで、運行に踏み切りましたし、そのような手法で進めさせていただいております。</p>
	委員（北陸信越運輸局 猿谷専門官）	<p>最後の39ページにありましたが、お子さんが初めてバスに乗ること、会長から乗継について不安部分があるのではないかとこの意見がありました。</p> <p>乗り方教室については、協働事業の中で小学生を対象にしているところですが、あるバス会社の方から話を聞くと、「バスの乗り方が分からない以前にバスに乗るのが怖い不安である」との声があります。</p> <p>バスによっては、先にお金を払うのか、後で払うのか違うので、乗り方教室を通じて、乗継についての不安部分を払拭していただきたい。</p> <p>市の負担もかなり重くなりますが、新しい地域では乗り方教室など複数回実施していただきたい。そのうえで地域協働推進事業を有効に活用していただきたいと思います。</p> <p>地域の皆様が作った目標ということですが、目標が達成できないと微妙なところもありますので、一所懸命がんばっていただきたいと思います。</p> <p>お子様の声を車内アナウンスにも入れるなど、色々な取り組みをしていますので、新発田市さんは頑張っていると思います。</p>
	議長（会長）	ありがとうございます。何かコメントはありますでしょうか。
	事務局長（三宮課長）	一生懸命やらさせていただきます。
	議長（会長）	頑張ってくださいと思います。他に何かご質問はありませんでしょうか。無いようではありますが、事務局からそのほかに何かありますでしょうか。
その他	事務局（原補佐）	<p>本日のご協議ありがとうございました。次回の協議会の開催について、5月頃を予定しております。</p> <p>また、本協議会は地域公共交通会議も兼ねております。本日も第4号議案にありましたとおり審議を要する案件が出た際には、ご参集をお願いすることもあるかと思いますのでその際はよろしくお願ひします。</p>

閉 会 (15:25)	議長（会長）	<p>ありがとうございました。全体を通しまして委員の皆様から何かありますでしょうか。</p> <p>【意見なし】</p> <p>無いようでしたら、本日の協議会は以上をもちまして閉会とさせていただきます。議事進行にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。今後ともよろしく申し上げます。</p>
----------------	--------	---